

令和6年度から

学校給食用牛乳パックを ストローレス対応化します

○ ストローレス対応への変更

現在、学校給食で提供している牛乳は、使い捨てプラスチックストローを使用していますが、環境への取り組みとして令和6年4月よりストローレス対応牛乳パックを使用することになりました。

○ 飲用方法

ストローレス飲用、従来どおりストローを使用した飲用、どちらも可能です。

飲み口の特性による直接飲用の難しさなど、児童生徒の実情等にあわせて、無理なく飲むことができます。

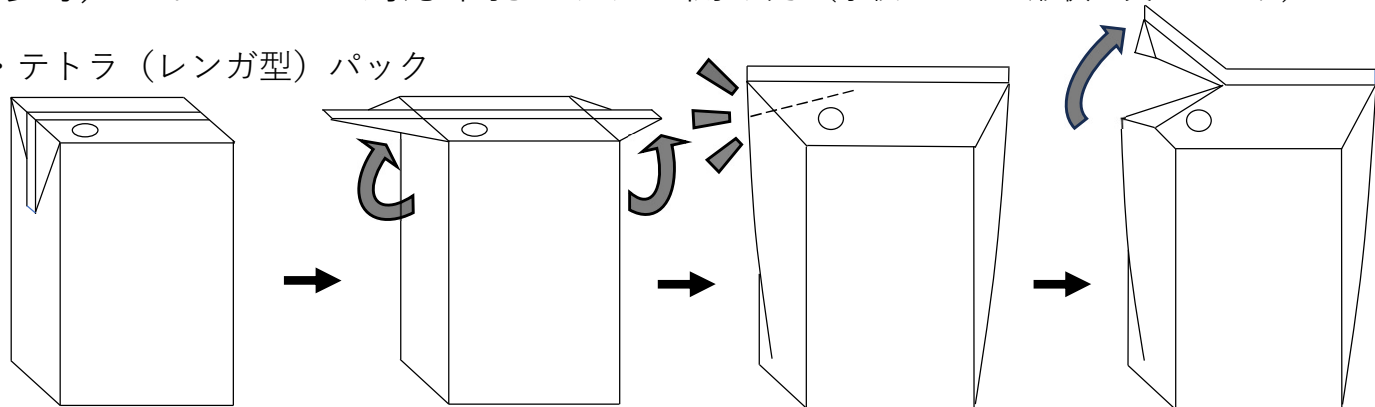
○ 環境への効果（見込み）

- プラスチックストロー約3,428万本（約10.3トン）の削減
- CO2排出量 約28.5 t-CO2の削減

※ 大阪市全体でプラスチックストローを使用しない場合の年間最大の推定値

（参考）ストローレス対応牛乳パックの開け方（学校によって形状が異なります）

・テトラ（レンガ型）パック



・ゲブル（屋根型）パック

